

令和4年度 自己評価表 坂町立坂中学校 ～「本気」と「感動」～

中期経営目標	短期経営目標	評価項目(具体的な取組・方策)	評価指標	参考値 (令和3年度)	目標値	実績値		評価 (自己評価 の結果)	成果と課題	改善策
					令和4年度	中間	最終			
【確かな学力】 主体的に学び、これからの社会に必要な学力を身に付けた生徒の育成	基礎的な学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 「わかった!」「できた!」が実感できる授業づくり(特別支援教育の視点) ドリルタイムの取組 定期試験前の質問教室の設定 安心して学べる学習環境整備の徹底 	生徒アンケート「先生の授業がわかる」	89%	90%	84%	86.6%	B	<ul style="list-style-type: none"> ○9月に実施された郡教研の取組を通して、各教員がICTを効果的に活用した授業づくりを研鑽し、「わかった!」「できた!」が実感できる授業づくりに取り組んだ。 ○日々のドリルタイムや定期試験前の質問教室も定着し、生徒の学力向上のため、組織的に取り組むことができた。 ●授業の中で学習につまずいている生徒に対して、個別に対応する時間の確保が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善を進め、組織的に、生徒と向き合う時間を確保していく。放課後等を活用し、学習につまずいている生徒の学力補充に取り組み、生徒の「授業がわかる」につなげていく。
	これからの社会に対応した学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 一人1台タブレットの活用 安心して学べる学習環境整備の徹底 	標準学力調査	【標準スコア平均】 旧第6学年 54.3 旧第1学年 51.7 旧第2学年 53.1	同一グループ で昨年度よりもアップ	【標準スコア平均】 第1学年 53.6 第2学年 51.3 第3学年 50.8	B	<ul style="list-style-type: none"> ○「タブレットを使った学習は分かりやすく、より内容が深まる」と回答した生徒は83.9%だった。ICTを活用することで学びが深まったと考える。 ●全学年ともに、標準学力調査の標準スコアの平均が下がった。ほとんどの教科で、活用よりも基礎のスコアが低い傾向にある。 ●オンライン授業の対応には、教員が不慣れな中ではあるが、12月より実施してきた。ネット環境の不具合であったり、準備や対応に時間がかかったりなどの課題もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学びであるドリルタイムの効果を検証するとともに、各授業、帯学習でドリル学習の時間を増やすなど基礎と活用のバランスを考えた授業づくりを再考する。 ・オンライン授業の実施手順や留意点については、教職員で共有化を図り、ICT支援員との連携を充実させる。 	
【豊かな心】 自らを律し、自分や友だち、家族やふるさとを大切にすることを心もった生徒の育成	礼節の向上 ・挨拶 ・黙動清掃	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員による日々の粘り強い指導 委員会活動など生徒の自治活動の推進 	生徒アンケート「心のもったあいさつ」「感謝の気持ちをもった掃除」	【挨拶】「心のもったあいさつをしている」91% 【黙動掃除】「感謝の気持ちをもった掃除をしている」89%	①90% ②90%	①89.7% ②87.6%	①88.5% ②89.4%	B B	<ul style="list-style-type: none"> ○「心のもったあいさつ」については、教職員が生徒よりも先にあいさつする等取り組むことで、あいさつができる生徒が増えた。 ○「感謝のきもちをもった掃除」については、教職員が必ず担当場所について、指導することで、生徒は、時間いっぱい黙動清掃を行うことができています。 ●生徒主体の活動をさらに充実させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教職員が率先して、あいさつをする。 ・掃除の意味を生徒に伝える。 ・生徒会を活用し、生徒主体の活動を充実させる。
	自他を大切に する心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 防災教育の推進 わいがやタイムの実施 部活動の充実 道徳の時間の充実 	生徒アンケート「自他を大切に して行動できる」	「自他を大切に して行動している」 97.6%	98%	96.3%	96.3%	B	<ul style="list-style-type: none"> ○第3学年で、外部講師を呼ぶなどして、防災学習の充実を図った。 ○わいがやタイムでは、自他の意見を大切にしながら活動できた。 ○第1学年では、道徳の授業で、担任だけでなく副担任も授業をすることで、いろいろな視点で道徳的価値を位置付けることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・坂中独自の防災教育、わいがやタイムを今後も継続していく。 ・道徳の時間を充実させるために、教職員間の情報共有や副担任を巻き込んで授業をする。
【たくましい体】 社会で生きて働くためのたくましさをもった生徒の育成	心身の健康の 保持増進	<ul style="list-style-type: none"> 保健だよりによる保護者・生徒への啓発 部活動の充実 	生徒アンケート「普段生活 の中で体力 づくり運動を している」	67.7%	70%	72.1%	64.9%	C	<ul style="list-style-type: none"> ○タイムリーな内容での保健だよりがでている。 ○部活動ではコロナ以前の状態にほぼ戻り、充実した活動を行うことができています。 ●部活動を普段の生活の中での体力づくりと 思っていない生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業で、身近にできる体力づくりのメニューや大切さを伝える。 ・アンケートに体力づくり運動(部活動を含む)と記載する。
	基本的な生活 習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> 保健だよりによる保護者・生徒への啓発 SNSやゲームの使用に係る指導 	生徒アンケート「毎朝2品以上 の朝食を食 べている」	78.9%	80%	78.7%	75.3%	B	<ul style="list-style-type: none"> ○SNS等アンケートを3学期に行い、現状を把握した。 ○外部講師にSNS、スマホの使い方について講義してもらい、トラブルの未然防止を図った。 ●朝食を摂らない生徒の実態が把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師にSNS、スマホの使い方について講義してもらい、長期休業中の前に設定する。
【信頼される学校】 保護者から信頼される 学校づくり	積極的な情報 発信	<ul style="list-style-type: none"> ホームページや一斉メールによる情報発信 電話や家庭訪問を通じた日常的な保護者との連携 	保護者アンケート「坂中 の教育活動 に満足してい る」	86.9%	85%	82.3%	86.1%	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりやホームページを通して、学校の様子や生徒の姿を、随時発信することができた。 ○担任や学年の教職員が、欠席時等の連絡や家庭訪問を丁寧に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たよりやホームページ等で発信するとともに、行事や授業参観を通して、学校の様子や生徒の姿を見ていただく機会をなるべく多く設定する。 ・引き続き、教職員全体で、丁寧に保護者対応を行っていく。
	主任層を中心 とした活力ある 職員集団の形 成	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会等を活用した人材育成 面談等による役割や目標の確認 管理職による日々の声掛け 	業務改善 アンケート	【充実感】 「充実感が得られている」 95.7% 「子どもと向き合う時間が 得られている」 87%	100% 90%	69.6% 60.9%	80.8% 69.2%	D D	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員全体における時間外勤務の平均時間が、一番多かった87時間(7月)から52時間(1月)に大幅に減少した。 ●「向き合う時間」について、前期より上がったものの、依然として低い数値である。教職員に時間だけでなく、心の余裕もないことが要因の一つと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主任を中心に、学年や分掌の進捗状況を確認し、計画的に業務に取り組めるように声かけ等行っていく。 ・1月に実施したストレスチェックの結果や時間外勤務時間を記入したプリントを個別に配付した。ストレス発散の方法を考えたり、時間を意識した業務遂行を心がけたりする機会としていく。

【自己評価 評価基準】 A: 目標は十分達成された(目標値+5%以上) B: 目標は達成された(目標値±4%) C: 目標は達成されなかった(目標値-5%以下) D: 目標は全く達成されなかった(目標値-10%以下)